

平成 28 年度福山少年自然の家における体験活動指導者研修

- 1 日 時 平成 28 年 6 月 20 日 (月) 午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- 2 場 所 県立福山少年自然の家
- 3 受 講 者 17 人
- 4 講座内容 キャンプファイヤー活動講座



トーチ棒づくり



キャンドルサービス



レクリエーションゲーム



リスクマネジメント



薪割り



薪組



薪組



キャンプファイヤーの説明



トーチ棒を灯油に浸す



日暮のつどい



歌唱「遠き山に日は落ちて」



キャンドル点火

5 受講者の事後アンケート結果 ※ 次の項目のうち、(2)、(3)、(4)についてまとめる。

事後アンケートの設問項目は、次の5項目で行った。

- (1) この研修に参加しようと思った動機及び自分自身の目標達成度 (%) 【自由記述】
- (2) 研修内容（プログラム）に対する評価 【4段階評定及び自由記述】
- (3) 講師の指導に対する評価 【4段階評定及び自由記述】
- (4) 研修で得たことはどんなことか 【自由記述】
- (5) 研修についての改善点や意見（時期、会場、内容、時間、その他） 【自由記述】

(※ 4段階評定：①とてもよかった、②よかった、③あまりよくなかった、④よくなかった)

<(2)、(3)の4段階評定結果>

設問項目	分かりやすい	まあまあ分かりやすい	少し分かりにくい	分かりにくい	肯定的評価の割合 (とてもよかった、よかった等)
研修内容(プログラム)に対する評価	15人	2人	0人	0人	100%
	役に立つ	まあまあ役に立つ	少し分かりにくい	分かりにくい	100%
	15人	2人	0人	0人	
設問項目	とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	100%
講師の指導に対する評価	15人	2人	0人	0人	

6 成果と課題

- アンケートによる研修内容（プログラム）に対する評価項目には「受講者が指導の体験をする機会もあり良かった」「子供と教員のどちらの立場でも体験できて良かった」とあった。

実際に指導者と児童の両面を体験することで、指導方法のポイントや行動をイメージすることができ、今後の指導に生かしていこうとする意見が多くみられた。

- アンケートによる研修内容（プログラム）に対する評価項目には「資料も多くあって、今後の指導に役立ちます」「研修後に見返すことのできる資料が大変参考になります」とあった。

演習を交えながらの研修形態のため、体験したことを振り返り、事後の指導に生かせるように、補助資料を12種類配付した。

- アンケートの研修で得たことの記入欄には「キャンプファイヤーには、リスクマネジメントが欠かせません。今日の研修内容をもとに、学校でもしっかりと共有していこうと思います」「体験活動を楽しむよい体験とするためにも、リスクマネジメントを指導者や子供みんなで考えていく大切さを学びました」とあった。

指導者として、中止の基準を明確にすることやリスクマネジメントについても理解を深めることができた。

- 参加者には、今後エールマスターとして実施する人や、今までにエールマスターとして実施したことある人などがあり、経験の有無や研修参加の目的を事前に把握して、対象者に応じた内容を提供できるように次年度は考えたい。

＜自由記述の主な内容＞

研修内容（プログラム）に対する評価	
肯定的意見	○ 理論研修だけでなく、自分たちが子供の立場に立って演習を行うことができ、分かりやすく、難しさも体験することができ、勉強になりました。 ○ 演習があったり、指導者としての話があったりと、子供と教員のどちらの立場でも体験できて良かった。 ○ 実際に自分が指導し、引率するだけではなく、児童の立場も体験することができたので良かったです。 ○ 具体的な指導方法を、実演を通してできたので、とても分かりやすかったです。資料も多くあって、今後の指導に役立ちます。 ○ 研修後に見返すことのできる資料が大変参考になります。実際に活動できたのが大変勉強になりました。 ○ キャンプファイヤーについては、自分が子供の頃に体験しただけの知識しかなかったので、今回指導する立場で研修を受けることができ、仕組みや流れが知れたことはとても大きかったです。 ○ 体験を通して指導の工夫が学べ、キャンプファイヤーの流れやレクリエーションもよく分かりました。 ○ キャンプファイヤーの準備、進行、危険予知まで一通り学ぶことができた。 ○ イメージでしかなかったものが、実際にやってみて、面白さや危険性がよく分かった。 ○ 天候のため中止になったこと（キャンドルサービスに変更）は残念でしたが、中止になる基準を設定することについても学べたので良かった。 ○ 残念ながらキャンドルサービスになったが、実際の流れやゲームの仕方などが分かって良かった。 ○ 実際に使用できるゲームなどをたくさん知ることができた。

研修で得たことはどんなことか
○ キャンプファイヤーの仕方、流れはもちろんのこと、それまでにしておくことや準備など、指導者側の目線での指導していただき、とても分かりやすかった。 ○ 自分が自信をもって楽しく指導すること、怪我なく活動を進める工夫です。7月に宿泊活動を行うので、今日得たことを生かして進めていきます。 ○ 雷注意報を理由に、室内（キャンドルサービス）に変更したことは驚いたが、天候による判断は大切だと気付いた。安全面の大切さを再認識できた。また、従来のやり方にとらわれず、安全を確保しながら新しいプログラムを作るなど、工夫を重ねて楽しいキャンプファイヤーをつくっていきたい。 ○ キャンプファイヤーのプログラムの構成の仕方、流し方など詳しく教えていただけたのがありがたかったです。実際に今年度、学校で行うので、何をねらいとしてどんな内容で組んでいくか、今日の研修で学んだことを生かして練っていこうと思いました。また、キャンプファイヤーには、リスクマネジメントが欠かせません。今日の研修内容をもとに、学校でもしっかりと共有していこうと思います。 ○ 「楽しい」のためには、指導者が安全について考えていかなければいけないことです。体験活動だけでなく、普段の学習の中で生かしていきたいです。 ○ 技能的な面を、実際に体験したことで知ることができました。また、キャンプファイヤーの進め方やゲームについても身をもって学ぶことができました。体験活動を楽しくよい体験とするためにも、リスクマネジメントを指導者や子供みんな考えていく大切さを学びました。実際に8月にある宿泊体験学習の時に生かしていきたいと思いました。 ○ キャンプファイヤーやキャンドルサービスの運営の仕方は、1つのパターンだけではなく、子供の実態に合わせることが大切であることを学びました。また、色々な場面に応じたゲームを知り、実際に生かしたいです。 ○ キャンプファイヤーの意義によって、子供たちに伝わるものが違うこと。まずは、自分が楽しむ姿勢を見せて進んでいくと良いことが分かった。 ○ 来月、実際に行う野外活動でのイメージがついてきました。学校に戻り、具体的な場面を児童に伝えながら指導していきたいと思います。当日は、自分がエールマスターを務めるので、楽しむ姿を子供たちに見せながら進んでいくようにしていきたい。 ○ 人と関わることって大事だと改めて思いました。日頃、クラスの子供たちと関わっているように見えて、実はしっかり関わりきれていない部分があると反省しました。今回の研修で、相手と関わるのに、ものすごく大変な準備も大げさな心構えも不必要なのだと学びました。まずは、身近にいる自分のクラスの子供たちと、しっかり手や目、心を使って関わっていきたいなと思いました。

講師の指導に対する評価	
肯定的意見	○ 全力で楽しむという志が伝わってきて、引き込まれました。私も児童の前に立った時は、失敗しても物怖じせずに堂々と楽しみたいと思います。また、指示が短く大きな声だったので、分かりやすかったです。私達のためにたくさんの準備、声かけを頂き、ありがとうございました。 ○ 内容を、実践を交えながら説明してくださり、とても分かりやすかったです。実践の指導の際には、指導者側が思い切って活動しなくてはならないことも学べました。 ○ 事前に準備をたくさんして頂いたおかげで、スムーズに研修を受けることができました。また、講師の方も具体的な説明をしてくださったことで分かりやすかったです。 ○ どの講師の方も丁寧に教えてくださり、講義や実践ともにとても分かりやすかったです。内容も充実していて、学びの多い時間でした。 ○ 指導者の方が大変気さくで、研修の雰囲気をよくしてくれたため、全体を通して楽しく研修を受けることができました。また、基本的なことから丁寧に教えてくださった。 ○ 丁寧に指導してくださり、質問にも的確に答えてくださったので助かりました。 ○ 丁寧に実物を見せてくださりながらの説明があり、分かりやすかったです。 ○ 講師の皆さんの笑顔で、まず緊張がほどけました。説明なども、とても分かりやすかったです。 ○ 場の空気を盛り上げながらの指導で、硬くならず活動ができた。 ○ 明るくハキハキ指導していただき、とても分かりやすかった。 ○ とても丁寧に楽しく分かりやすく指導してくれました。 ○ とても楽しく研修を受けることができました。 ○ 楽しく分かりやすく教えていただき、集中して話を聞けました。 ○ ポイントになるところを、丁寧に教えていただきました。 ○ 目的や意味を説明しつつ、色々なことを教えてもらえた。